



館内おはなし会	おはすい	おはどん	おはちび	すがたり おはなし会
毎週 水ようび 16:00~ えほんの よみかせなど 第3水ようびは 「さがたりの日」	毎週 土ようび 15:00~ えほんよみかせ を中心に	第2日ようび 第4水ようび 11:00~ 0・1・2さい向け 手あそび・えほん など	第5土ようび えほんをつかわない おはなしかたりを きく会	

NEWS 5/12

春のたねまき おはなし会にきてくれてありがとう!



5月12日には春のたねまきおはなし会が
ひらかれました。

こんかいは ① すがたりのへや
と ② ふれあいあそびベヤの
2つで、おはなしポケットのメンバー
によるプログラムがおこなわれました。

- ①では「語り」でおはなしの世界へ。
『エパミナダス』など3つの
おはなしをたのしみました。
- ②のふれあいあそびのへやでは
♪ 親子なかよく、わらべうたにあわせ
体をうごかしました。おみやげはピエモンがえるデジタ。



決定!

なつのえほんまつり

7月20日(土) ~ 8月25日(日)

おはなし会 8月4日(日)



ぐわくは
あとで
はひよう
します。

おはなし会スタンプカード あります!

6月

日	月	火	水	木	金	土
2	3 (休)	4	5 (4じ~おはすい)	6	7	8 (3じ~おはどん)
9 (11じ~おはちび)	10 (休)	11	12 (4じ~おはすい)	13	14	15 (3じ~おはどん)
16	17 (休)	18	19 (4じ~おはすい)	20	21	22 (3じ~おはどん)
23	24 (休)	25	26 (11じ~おはちび)	27	28	29 (3じ~おはどん)
30						

おはなし会スタンプカード あります!

7月

日	月	火	水	木	金	土
	1 (休)	2	3 (4じ~おはすい)	4	5	6 (3じ~おはどん)
7	8 (休)	9	10 (4じ~おはすい)	11	12	13 (3じ~おはどん)
14 (11じ~おはちび)	15 (休)	16 (11じ~おはちび)	17 (4じ~おはすい)	18	19	20 (3じ~おはどん)
21	22 (休)	23	24 (11じ~おはちび)	25	26	27 (3じ~おはどん)
28	29 (休)	30	31 (4じ~おはすい)			

おはなし会スタンプカード あります!

25日(日)

25日(日)

おはなし会スタンプカード あります!





近頃は、なんだかお天気の前測がつけにくくなっているように思うのは、私だけでしょうか？2月に春のような暖かい日があったかと思うと、3月、4月にもすごく寒い日があったり、5月には、台風かと思うような暴風が吹き荒れたりしています。

それでも、季節は巡って、田んぼの景色も日々違う顔を見せてくれますし、野原では、様々な自然の営みが……。そこで、今回は『やぶこぎ 川辺の草はらと生き物たち』（モリナガ・ヨウ 作 畠佐代子 解説 くもん出版 2023年刊）を紹介します。実は、私、毎日橋を渡って通勤しておりまして、この絵本の絵に馴染みがありすぎて、絵本を見ながら、ガサガサと妄想「やぶこぎ」をしてしまいました。皆さんも、絵本で河川敷の探索をしてみましょう。絵本は、見開きいっぱいの初夏の河川敷の絵から始まります。次のページは、これも見開きいっぱいに見上げる高さに育った「オギ」原の絵。赤いかっぱ（雨具）を着て、赤い帽子をかぶり長靴をはいて完全武装をした女の子(?)が、両手で泳ぐようにオギをかき分けて、中に入っていきます。「やぶこぎ」です。

絵本には、この完全武装の仕方や、ここで見る事ができる動物や植物たちの絵と情報が書かれています。

それから、近くの田んぼのこと、橋の下の様子や雨の時の川の様子、そして、夕暮れの河川敷の様子。どの絵も、これは、赤川の河川敷を歩いたんじゃないの？と思うくらいに、馴染みの風景です。きっと、日本中にこのような景色が、あるのでしょうね。「やぶこぎ」をしたあとは、フィールドワークの後始末。着ていたものの、履いていたもの手入れの仕方や、押し葉作りもいかが？と、さりげなく書かれています。最後のほうには、解説者が、現在の河川敷の様子や、四季の河川敷の姿を、写真と文字で解説しています。

絵本は、物語を楽しむのも良いですが、こんな絵本に出会うと、これ読んでから、河川敷に子どもと行きたいなあ。行って来たら、またこの絵本と一緒に読みたいなあ。と思ってしまいます。



「やぶこぎ 川辺の草はらと生き物たち」
モリナガ・ヨウ / 畠佐代子 作
くもん出版

ポケットの穴 から こぼれた話

先日、久しぶりに 小学4年の 朝読書にうかがいました。
今回は 絵本ではなく 素語りで「アナンシと五」という
ジャマイカの 昔話 を 語りました。

ずる賢い悪い奴が、いい気になりすぎて ついに自滅する、という解り
やすいお話です。素語りの醍醐味は、聴き手の表情がよく見え
心の動きが 感じ取れること です。はじめは 興味なさそうな子ども、次第に
入りこんで、語り手と一っしょに ドキドキしたり、面白がったり...
いつもは 大人の言う事を 聞いてくれないような ぎかんぼ男子ほど
何故か まずかな瞳で、楽しんでくれる気がします。

そんな時、文字のない太古 から ずっと伝わってきた 昔話の力を
ひしひしと 感じ、「もっ 色々な 昔話をおぼえよう！がんばるぞり」
と思う 単純な お話おぼえさんの私です。

★ おぼえなしホウキトでは、 第5土曜日 3:00~(6/9. 8/31-11/30)
と、素語りのお話し会にします。
どなたでも お気軽に どうぞ♡ いのぶん



ポケットメンバーのおすすめ作家紹介

さとうわきこ

1937年東京市大井町生まれ（現東京都品川区）



せんたくかあちゃんの延長からうまれた
「ばばあちゃん」シリーズは「ば」が3
つあるとたくましさも3倍
自分が経験したことを物語に取り入れた



『せんたくかあちゃん』
たくましい母に似ている
女性の強さを描ききった

最初のえほん
『おつかい』
雨の日に、女の子が
おつかいをたのまれました

1977年12月号の月刊誌
「母の友」に、
「ババばあちゃんのはなし
すてきないす」が絵童
話として登場したのがい
ちばん最初

動物や虫が好きな活発な女の子
叔母に童話を讀んでもらっていた

中学生からよく絵を
描くようになる

美大に行くお金を貯め
るため高校卒業後映画
会社に就職

体調が悪化し入院
退院後、デザインを学
びデザイン会社に就職

仕事で寺村輝夫「王様シリーズ」と
知り合い、独立の相談に乗って貰う

編集者の一言で長野県へ移住
「展示会へ行けないなら借りてきて展示し
ちゃえばいいのでは」と夫に話したら「美術
館をつくらう」と絵本美術館を作る

一般社団法人 小さな絵本美術館
長野県岡谷市と諏訪郡原村にあるさとうわきこが創設した
絵本美術館
絵本原画や絵画、古い絵本などを展示